



笑顔いっぱい

長子配布
令和2年11月号

武雄市立武雄小学校 情報新聞

校長だより

文責 竹内智道

【学校教育目標】

自ら考え、正しく判断し、**やり抜く**、人間性豊かな児童の育成

【児童の合い言葉】

ふわふわことばと思いやり みんな にこにこ たけおっ子

令和2年度 運動会

武雄小運動会を10月25日(日)に開催しました。毎年5月に開催していましたが、今年はコロナウイルス感染症の影響で10月に時期を移して行いました。実施するにあたり、コロナウイルス感染症対策として、昼食をとらずに午前中の開催とし、参観される御家族の皆様も2名までと制限、来賓の皆様にも参観をご遠慮いただくなどいたしました。保護者の皆様、地域の皆様にはご理解ご協力をいただきありがとうございました。

また、子ども達も感染症対策として、朝、学校に着くと検温を行ったり、応援席では、マスクを着用し、適宜アルコール消毒を行ったり、徒競走はセパレートコースで走ったり、応援合戦は一人一人の間隔をとることができるよう4年生以上で行ったりと例年になく対応をしながらがんばってくれました。子ども達も感染症対策について十分に意識をし、互いに協力し運動会に臨みました。

運動会の準備の段階で各クラスの代表が集まって、話し合いをし、この運動会のスローガンを【ベストをつくして みんなで勝とう コロナに負けない たけおっ子】と決めてくれました。また、応援団の言葉や応援歌の中にも同じようなフレーズが度々出てきて、「いつもと違う運動会だけど一杯みんなで競技し、思い出に残る運動会にしよう」という気持ちが溢れる運動会でした。

1, 2年生のダンスは、運動場いっばいに広がりとてもかわいく楽しそうに踊っていました。

3, 4年生の武雄ソーランは、黒いほっぴをはためかせながら粋な踊りを見せてくれました。

5, 6年生の柄崎太鼓は、春休みから太鼓の練習をして力強い太鼓の響きを運動場いっばいに届けることができました。また、武雄小学校が分離した頃から30年続く伝統を魂のこもった踊りとそろった勇壮な声で表現し、見事に踊りきってくれました。

どの学年も見る者を感動させてくれました。また、子ども達のすごさ、これからの可能性を見せてくれたと思っています。

応援合戦も赤組、白組それぞれ自分たちで隊形を考えたり、応援歌を作ったりして一体となった応援を見せてくれました。今年は、赤組が総合優勝、応援優勝を取りました。ダブル優勝を目指した赤組の頑張りとても良かったです。

白組も最後まで諦めずやり抜く姿勢を見せてくれ、隊形を様々な形に変えながらの応援、大変印象に残りました。破れはしましたが素晴らしい応援ぶりだったと思います。

小学校最後の運動会となった6年生、親子でのレク走【こんなに大きくなりました】では、大きくなった6年生をおんぶしゴールに着いたときの保護者の方のほっとした表情や、二人三脚で声をそろえながら足の運びを合わせようとする姿など笑顔はじける競技となり、思い出の一つになったのではないかと思います。

ともかくにも雲一つ無い青天のもと「たけおっ子」が躍動した運動会になったことをうれしく思います。今年の学校教育目標の「やり抜く」力をつける事ができたのではないかと思います。



読書の秋

秋といえば、「スポーツの秋」「食欲の秋」「読書の秋」などあります。本を読む事は、文字になれる、言葉を知る、文書を早く読むことができる、何が書いてあるのか読み取る力がつく、知識を得ることができるなどなど、いいことがたくさんあると思います。活字(文字)離れと言われて久しいですが、「読書の秋」という言葉をきっかけにご家庭で本を読む事の良さを話されてみてはいかがでしょうか。学校でも図書館祭りが11月24日~30日まであり、本と親しむ取組を行います。

